

大切な作物を害虫から守ります。

カルホス[®] 乳剤

ロングセラーには理由がある!

1. 接触毒と食毒の両作用により、幅広い害虫に有効です。
2. 作物への吸収移行がないので、残留・残臭が少ない殺虫剤です。
3. 悪臭や刺激性が少なく、使いやすい。



カルホス[®] 乳剤

■有効成分：
イソキサチオン…50.0%
■人畜毒性：劇物

■適用病害虫名及び使用方法

(平成21年1月現在の登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
とうもろこし	アワノメイガ	1000		2回以内		2回以内 (種子粉衣は1回以内)
みかん	ゴマダラカミキリ成虫	1500	収穫30日前まで	4回以内	散布	4回以内
	ヤノネカイガラムシ ツノロウムシ サンホーゼカイガラムシ ミカンハモグリガ コカクモンハマキ クワゴマダラヒトリ若齢幼虫 ミカンサビダニ ヒラタカタカイガラムシ イセリヤカイガラムシ	1000~1500				
	コナカイガラムシ類 ミノムシ ケシキスイ類	1000				
	カネタタキ	5000				
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼虫	1000~1500	植付後	1回	1㎡当り3ℓ灌注	1回
キャベツ	アオムシ コナガ	1500~2000	収穫21日前まで	1回	散布	
たまねぎ	タマネギバエ	500~1000	定植前	1回	育苗箱(約30×60×2.5cm,使用土壌約2ℓ)1箱当り希釈液500mlを土壌灌注する。	1回
さとうきび	アオドウガネ幼虫 ハリガネムシ類	1000	夏季生育期まで	3回以内	1㎡当り 1.8ℓ土壌灌注	5回以内 種苗浸漬は1回以内、 植付時の土壌混和は1回以内、 植付後は3回以内
	ハリガネムシ類		植付前	12時間種苗浸漬		
茶	コカクモンハマキ チャノホソガ ヨモギエダシヤク クワシロカイガラムシ チャノホコリダニ	1500	摘採21日前まで	1回		1回
たばこ	ジャガイモガ	1000		2回以内		2回以内
	タバコガ ヤサイゾウムシ	1000~1500				
	ヨトウムシ	1500~2000				
樹木類 (つばき類、まさき、 もっこく、さくら、 プラタナスを除く)	ツノロウムシ	1000	-	3回以内	散布	3回以内
つばき類	ツノロウムシ チャドクガ					
まさき	ツノロウムシ ユウマダラエダシヤク					
もっこく	ツノロウムシ モッコクハマキ					
さくら プラタナス	ツノロウムシ アメリカシロヒトリ					
すぎ	スギザイノタマバエ					
まつ	マツコナカイガラムシ			3回以内		3回以内
花き類・観葉植物 (きく、ガーベラ、 シクラメン及び アジアンタムを除く)	オンシツコナジラミ若齢幼虫	1000	-	4回以内	散布	4回以内
きく	マメハモグリバエ オンシツコナジラミ若齢幼虫					
ガーベラ	スジキリヨトウ シバツトガ シバオサゾウムシ ケラ コガネムシ類 タマナヤガ幼虫					
芝	スジキリヨトウ シバツトガ シバオサゾウムシ ケラ コガネムシ類 タマナヤガ幼虫		発生初期	6回以内	1㎡当り 1~2ℓ散布	6回以内

■効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 芝に使用する場合は、土壌面まで濡れるように十分な液量を散布してください。
- オンシツコナジラミに対しては若令幼虫には有効であるが、卵、蛹には効果が低いので、若令幼虫の多い時期をねらって約1週間間隔でくり返し散布してください。
- いちごのコガネムシ類幼虫に対しては仮植床に植付けた後床面全面にジヨロ等によって所定量を均一に灌注してください。
- とうもろこしのアワノメイガに対する散布適期は雄穂の出穂期であり、雄穂の出穂前後の2回散布が効果的です。
- すぎのスギザイノタマバエ防除に使用する場合は、成虫の発生初期に地上3mの高さの樹幹部に樹皮表面積1㎡当り600mlを標準として散布してください。
- たまねぎ(育苗箱)に使用する場合、軟弱苗などには薬害を生じるおそれがあるので留意してください。
- さとうきびのハリガネムシ類防除に種苗浸漬処理で使用する場合、所定時間浸漬後風乾してから植え付けてください。
- さとうきびのアオドウガネ幼虫に使用する場合、なるべく若令幼虫の多い時期に合わせてください。
- シクラメン、アジアンタムには薬害を生ずるので、かからないように注意して散布してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を避けること。
 - ③養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 薬液調製時及び使用の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ハウスで使用する場合は、換気に十分注意し、薬液がハウス内にこもらないようにしてください。使用後は十分に換気し、入室してください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意してください。

包装：100ml×60本、500ml×20本

*使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響がないよう適切に処理してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

製造

取扱店



保土谷UPL株式会社
東京都中央区日本橋三丁目14番5号